

# 2024年11月期 第2四半期決算説明会

～中期経営戦略及びキャピタル・アロケーション方針について～

sala  
SALA GROUP

株式会社サーラコーポレーション

2024年7月18日（木）



## 目次

1. 決算ハイライト 及び 通期業績見通し
2. セグメント別の決算概況 及び 見通し
3. 中期経営戦略について
4. PBR改善に向けたキャピタル・アロケーション方針
5. 参考資料

# 1. 決算ハイライト 及び 通期業績見通し

# 2024年11月期 第2四半期（12月－5月）決算ハイライト

- エネルギー&ソリューションズ事業において、原料費調整制度に基づき、都市ガスの販売価格を下方調整するなどしたため、売上高は減少した。
- 利益面は、カーライフサポート事業及びアニマルヘルスケア事業が減益となり、営業利益は減少した。

売上高

24年11月期 第2四半期

**1,188億円**

前年同期比

▲70億円（▲5.6%）

営業利益

24年11月期 第2四半期

**48億円**

前年同期比

▲1億円（▲2.6%）

親会社株主に帰属  
する四半期純利益

24年11月期 第2四半期

**43億円**

前年同期比

▲4億円（▲9.3%）※

※前期実績は特別利益（退職給付制度改定益）を含む

- 2024年1月12日公表の通期業績見通しに対し、営業利益を10億円下方修正。
- 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ2億円下方修正。

売上高

24年11月期 通期見通し

2,550億円

前年差

+129億円 (+5.3%)

営業利益

24年11月期 通期見通し

63億円

前年差

+2億円 (+3.6%)

(前回見通し差▲10億円※)

※内訳 エネルギー&ソリューションズ▲2億円、ハウジング▲3億円、  
カーライフサポート▲3億円、アニマルヘルスケア▲2億円

親会社株主に帰属  
する当期純利益

24年11月期 通期見通し

54億円

前年差

▲6億円 (▲11.5%)

(前回見通し差▲2億円)

## 2. セグメント別の決算概況 及び 見通し

# 通期業績見通し\_セグメント別営業利益

(単位：百万円)	中間		通期		
	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	2023年11月期 実績	2024年11月期 見通し	前回 (2024年1月) 見通し差
エネルギー&ソリューションズ	4,056	3,998	2,989	3,540	▲200
エンジニアリング&メンテナンス	1,384	1,316	2,659	2,140	—
ハウジング	▲400	▲180	142	450	▲300
カーライフサポート	▲133	▲238	19	60	▲300
アニマルヘルスケア	277	170	313	330	▲200
プロパティ	▲18	6	411	230	—
その他・調整額	▲144	▲184	▲453	▲450	—
<b>全社</b>	<b>5,022</b>	<b>4,889</b>	<b>6,083</b>	<b>6,300</b>	<b>▲1,000</b>

# セグメント別概況①

## エネルギー&ソリューションズ

都市ガス、LPガス、電気、石油製品、高圧ガス、物流サービス、リフォーム

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
売上高	71,337	64,326	127,117	128,000
営業利益	4,056	3,998	2,989	3,540※

※2024年7月5日に連結業績予想を修正。（営業利益▲200百万円）

### 重要指標

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
お客さま件数	533千件	535千件	534千件	544千件
リフォーム売上高	42億円	41億円	95億円	101億円
ビジネスサービス売上高	36億円	35億円	76億円	87億円

### 中間決算の概況

- 売上高は、エネルギー原料価格が下がり、都市ガス販売価格を下方調整したことにより、前年同期比9.8%減となった。
- 営業利益は、都市ガス、LPガスの売上総利益は増加したものの、バイオマス発電所の燃料の原料価格が円安の影響により高騰したことなどから、前年同期比1.4%減となった。

### 通期業績見通し

- 器具販売やリフォームに注力することに加え、販売費及び一般管理費の削減に努める。
- 成長分野と位置づけた電力事業について、オフサイトPPAなどの新たなサービス開発を進めるとともに、建設中の蓄電所は当初計画より1年前倒しの2025年中の稼働を目指す。
- 通期の営業利益は、バイオマス発電所の燃料の原料価格の高騰が続くことから当初計画より▲2億円の35億円となるものの、前年を上回る見通し。

# セグメント別概況②

## エンジニアリング&メンテナンス

都市インフラ整備（道路、トンネル、建築、港湾土木など）、設備工事・メンテナンス、システム開発

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
売上高	14,999	14,759	30,646	31,000
営業利益	1,384	1,316	2,659	2,140

### 重要指標

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
設備工事部門売上高	2,773	2,663	5,376	5,100
土木部門売上高	5,477	5,227	11,914	12,285
建築部門売上高	3,183	2,863	6,553	7,000
メンテナンス部門売上高	3,005	3,057	6,017	6,200

### 中間決算の概況

- 売上高は、設備、土木及び建築の各部門において完成工事が減少したため、前年同期比1.6%減となった。
- 営業利益は、土木及び建築部門で完成工事粗利益が減少したことから売上総利益は前年を下回り、前年同期比4.9%減となったものの、引き続き高い水準を維持している。

### 通期業績見通し

- 受注環境は、民間投資に慎重さは見られるものの、公共投資は安定しており、官庁工事案件数、利益率ともに概ね順調であり、受注高は各部門において前年を上回って推移している。下期は、来期以降の売上につながる受注活動にも積極的に取り組む。
- 業務プロセス改革に継続して取り組むことで、高い利益水準を維持する。合わせて、人材育成への投資、業務の効率化やデジタル技術の活用を進め、生産性の向上を図る。
- 以上により、売上・利益ともに通期計画を達成する見通し。

# セグメント別概況③

## ハウジング

注文住宅・分譲住宅、リフォーム、建築資材

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
売上高	14,868	15,511	34,180	38,000
営業利益	▲400	▲180	142	450※

※2024年7月5日に連結業績予想を修正。（営業利益▲300百万円）

### 重要指標

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
新築戸建住宅引渡し件数※	127件	146件	381件	430件
ZEH比率	38%	35%	36%	40%
住宅部資材加工・販売部門 新規顧客開拓件数	46件	77件	107件	140件

※サーラ住宅、太陽ハウジング、宮下工務店の合計件数

### 中間決算の概況

- 住宅販売部門において、新商品の投入などにより受注が回復したため、注文住宅の販売棟数は増加となった。一方、住宅部資材加工・販売部門は浜松・豊橋エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により、取引先からの受注が減少した。
- 以上により、売上高は前年同期比4.3%増、営業損失は1.8億円（前年同期は営業損失4億円）に縮小した。

### 通期業績見通し

- 住宅販売部門において、通期の引渡し件数は上期の受注状況の影響により当初計画を下回るものの、下期より断熱性能等を向上させた新商品「SINKA Ult-air（アルテア）」の販売を開始し、受注拡大を図る。
- 住宅部資材加工・販売部門は、新規顧客の開拓を継続するとともに、物流サービスレベルの向上により収益性の向上を図る。
- 通期の営業利益は、当初計画より▲3億円の4.5億円となるものの、前年を上回る見通し。

# セグメント別概況④

## カーライフサポート

輸入自動車（フォルクスワーゲン、アウディ）の販売、整備

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
売上高	8,826	8,030	18,154	23,000
営業利益	▲133	▲238	19	60※

※2024年7月5日に連結業績予想を修正。（営業利益▲300百万円）

### 重要指標

	中間		通期	
	2023年 実績	2024年 実績	2023年 実績	2024年 見通し
新車販売台数	696台	742台	1,565台	1,679台
中古車販売台数	981台	745台	1,915台	1,949台

### 中間決算の概況

- フォルクスワーゲンの新車販売台数は増加したものの、アウディは上期前半にかけ主力車種の供給が不足したことで、受注が伸び悩んだ。また中古車販売台数は在庫車両の不足により減少したものの、仕入れに注力し、在庫台数は回復傾向にある。
- 以上により、売上高は前年同期比9.0%減、営業損失は2.3億円（前年同期は営業損失1.3億円）に拡大した。

### 通期業績見通し

- 新車販売においては、下期に複数のモデルチェンジを予定しているため、予約注文を含めた積極的な受注獲得を図る。また、中古車販売においては、仕入れを強化し在庫車両を確保するとともに、Webマーケティングも活用し、拡販に努める。
- コーティング等の付帯商品の提案にも注力し、一台当たりの利益を増加させる。
- 通期の営業利益は上期の影響が残り、当初計画より▲3億円の0.6億円となるものの、前年を上回る見通し。

# セグメント別概況⑤

## アニマルヘルスケア

動物用医薬品、器具機材、機械設備の販売

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
売上高	12,889	13,067	25,122	26,000
営業利益	277	170	313	330※

※2024年7月5日に連結業績予想を修正。（営業利益▲200百万円）

### 重要指標

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
畜産部門売上高	6,496	6,454	13,081	13,480
ペット関連部門売上高	6,268	6,421	11,777	12,884

### 中間決算の概況

- 売上高は、畜産部門において動物用医薬品等の受注が堅調に推移し、また、ペット関連部門において新規顧客との取引拡大やシーズン薬の伸長により、前年同期比1.4%増となった。
- 営業利益は、動物用医薬品等の仕入価格が上昇するとともに、現在進めている構造改革により販売費及び一般管理費が増加したため、前年同期比38.6%減となった。

### 通期業績見通し

- 新規開拓によるシェアの拡大と、プライベートブランド商品や重点商材の販売に注力するとともに、販売価格改定により収益改善を進める。合わせて、生産性向上にむけ、営業と配送の分離・倉庫集約化による構造改革を進める。
- 通期の営業利益は上期の影響が残り、当初計画より▲2億円の3.3億円となるものの、前年を上回る見通し。

# セグメント別概況⑥

## プロパティ

不動産賃貸・売買、ホテル、飲食店、スポーツクラブ

### 数値計画

単位：百万円

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
売上高	2,132	2,263	5,005	7,000
営業利益	▲18	6	411	230

### 重要指標

	中間		通期	
	2023年実績	2024年実績	2023年実績	2024年見通し
不動産情報取得件数	554件	655件	2,283件	2,170件

### 中間決算の概況

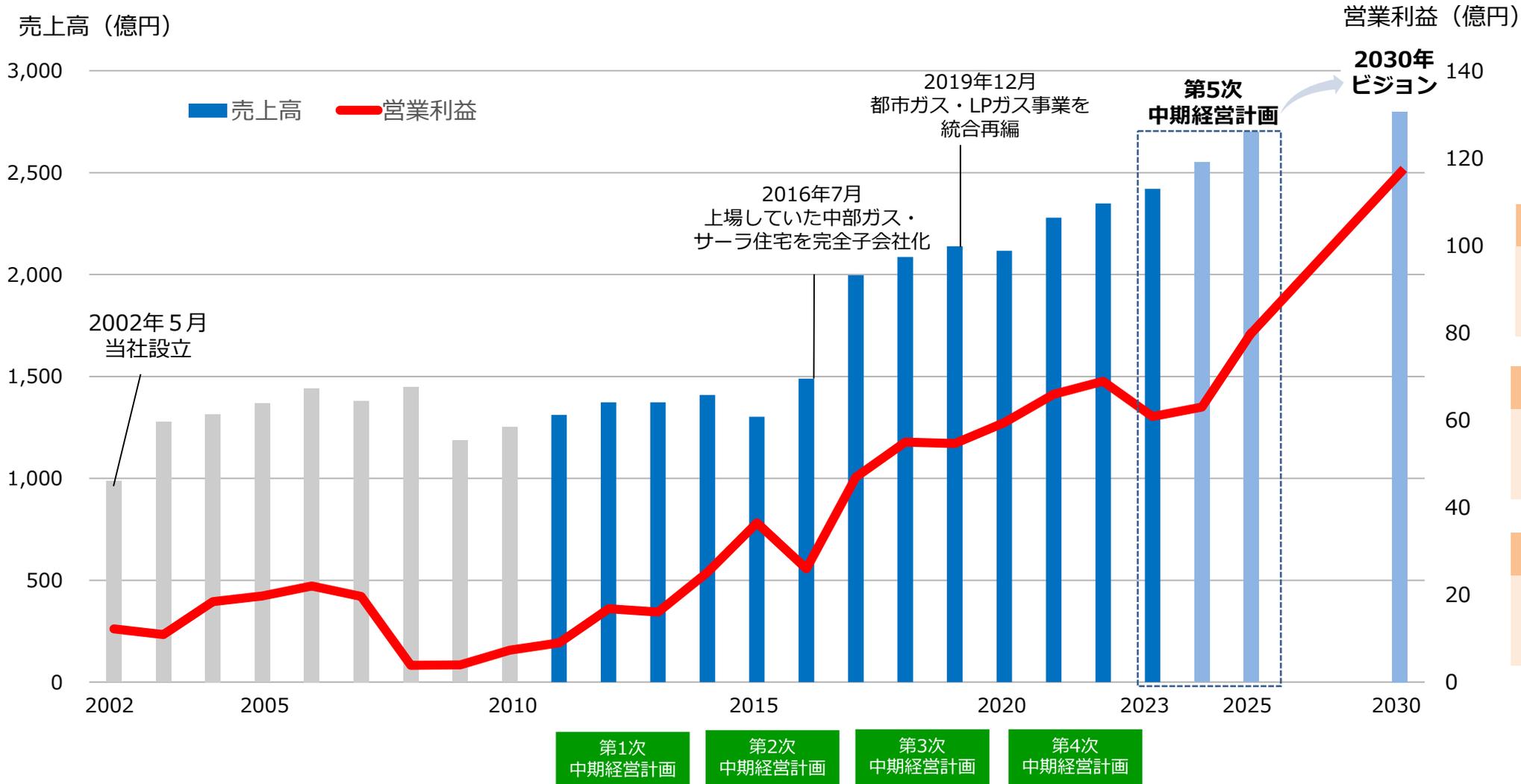
- 不動産部門は、買取再販や施設管理を行う資産マネジメント分野を中心に法人向け取引が堅調に推移した。ホスピタリティ部門は、経済活動の正常化に伴い宴会や宿泊の利用客数が増加した。
- 以上により、売上高は前年同期比6.2%増、営業利益は営業赤字から黒字に転換した。

### 通期業績見通し

- 不動産部門では買取再販を伸ばすとともに、売買仲介、資産マネジメント分野で法人向けの取引に注力する。また、emCAMPUS WESTの竣工に伴うマンション販売を見込む。ホスピタリティ部門では、ブライダル需要が伸び悩む一方で、ホテルや飲食店舗における宴会需要が引き続き拡大することを見込み、周辺企業などへの営業活動を積極的に行う。
- 以上により、通期の売上高及び営業利益は計画を達成する見通し。

### 3. 中期経営戦略について

# グループ再編による基盤強化とシナジー発揮により着実な成長を実現 今後はさらなる成長に向けて投資を加速し営業利益を倍増へ



## 2030年 連結数値目標

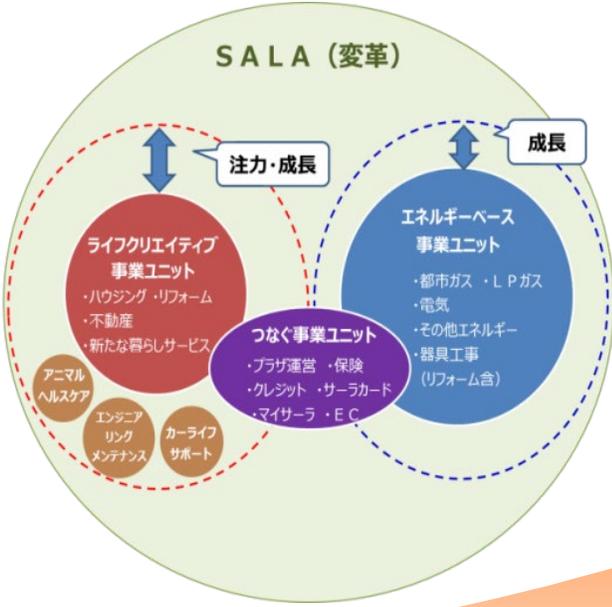
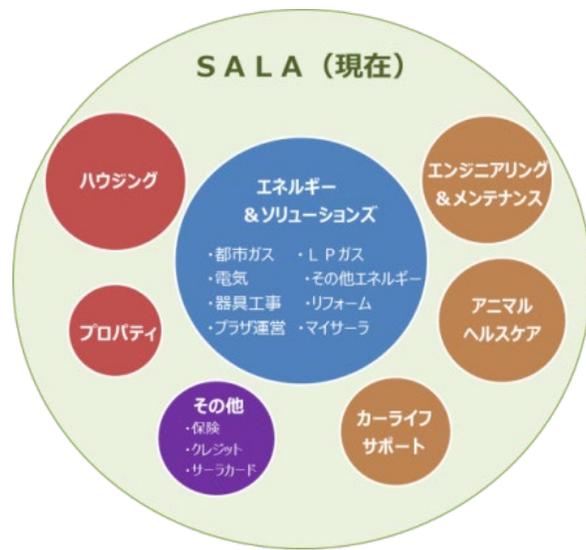
売上高	<b>2,800億円</b>
営業利益	<b>120億円</b>
営業利益率	<b>4.3%</b>

2030年の「暮らしのSALA」の確立に向け、住まい分野の飛躍的な成長  
それを実現するためのプラットフォームを拡充

2030年  
暮らしのSALAの確立

住まいの仕事の再定義

セグメントの集合体



第5次  
中計



成長分野への投資

3か年合計 **150億円**

2025年11月期 売上高2,700億円、営業利益80億円を実現

# 事業変革と新しい価値の創造 それを実現するための成長投資を実行する

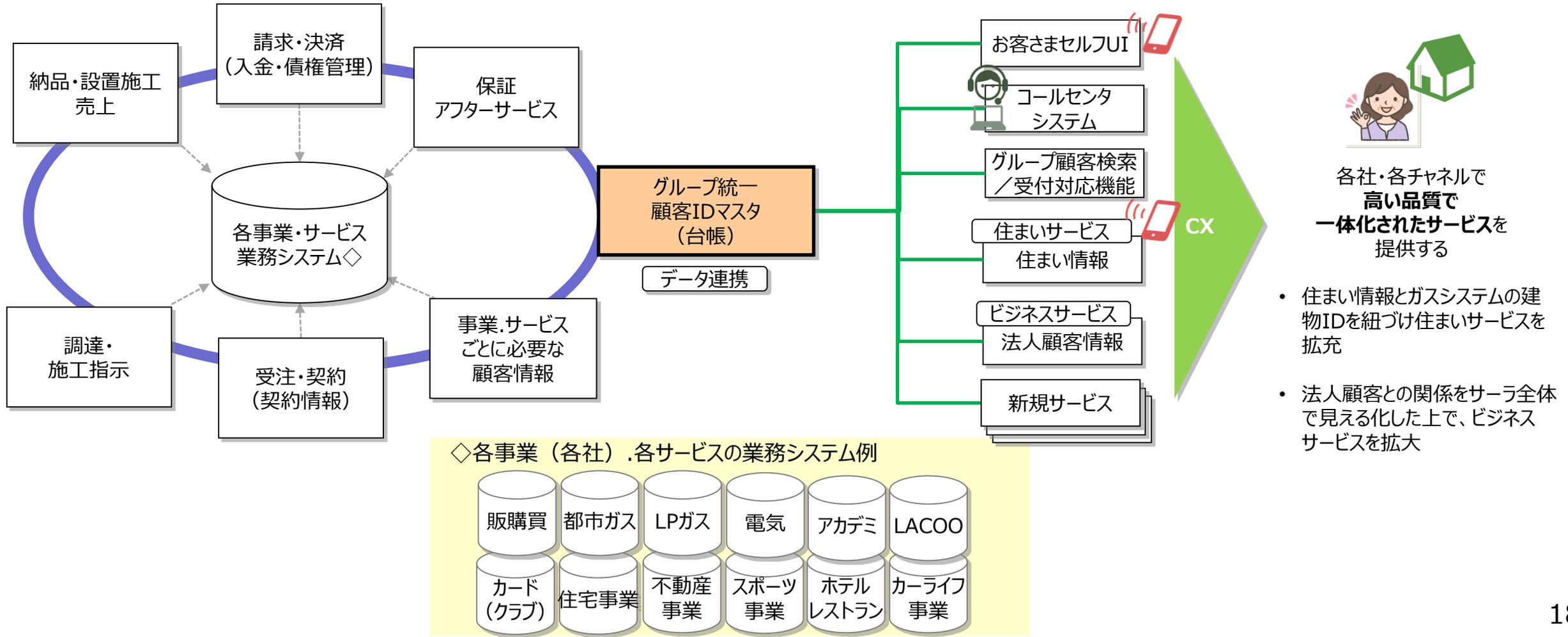
	主な投資内容	投資額
①DX投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ基幹システム構築</li> <li>・販売管理・会計システム</li> </ul>	17億円
②カーボンニュートラルの実現、新分野への投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力事業（系統用蓄電所建設、太陽光発電設備導入）</li> <li>・自社施設の省エネ・カーボンニュートラル化</li> <li>・新店舗出店</li> <li>・中古戸建住宅再販事業立ち上げ</li> </ul>	44億円
③人的資本投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事制度改革、定年延長</li> <li>・ベースアップの実施</li> <li>・人材育成機会の充実</li> </ul>	7億円
④業務資本提携・M&A投資等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継</li> <li>・資本業務提携</li> <li>・ベンチャーキャピタルファンドファンド、スタートアップへの出資</li> </ul>	4億円

合計（2022年12月～2024年5月末実績）

**72億円**

# 事業戦略を実現するためのデジタル基盤を整備する

グループ各社に蓄積されたお客さま情報を効果的に連携し、高いレベルの顧客体験（CX）を伴うOne-to-Oneサービスを実現する。グループ全社のコールセンタ・業務センタの集約、お客さまセルフUIの構築等により業務プロセスを効率化する。



# 地域における脱炭素社会の実現を重要な課題・成長機会と捉え、お客さま先を含むサプライチェーン全体での2050年のカーボンニュートラル実現を目指す

## 再生可能エネルギーの普及



系統用蓄電池事業参入により、再生可能エネルギー普及に向けた調整力を提供

地域のカーボンニュートラルを推進するため「サーラ浜松蓄電所」系統用蓄電池(コンテナ型NAS®電池)を建設。2025年中の事業開始に向けた準備を進める

## 事業活動における低炭素化

国内カーディーラーで初となるカーボンニュートラル店舗の運営を開始  
実質的にCO<sub>2</sub>排出量ゼロの電気およびガスを使用



## お客さま先における低炭素化

ZEH基準を上回る注文住宅をリリース  
サーラ住宅はZEH基準に対応した注文住宅「SINKA」に、断熱性能を強化した「SINKA Ult-air (アルテア)」を2024年6月より販売開始。

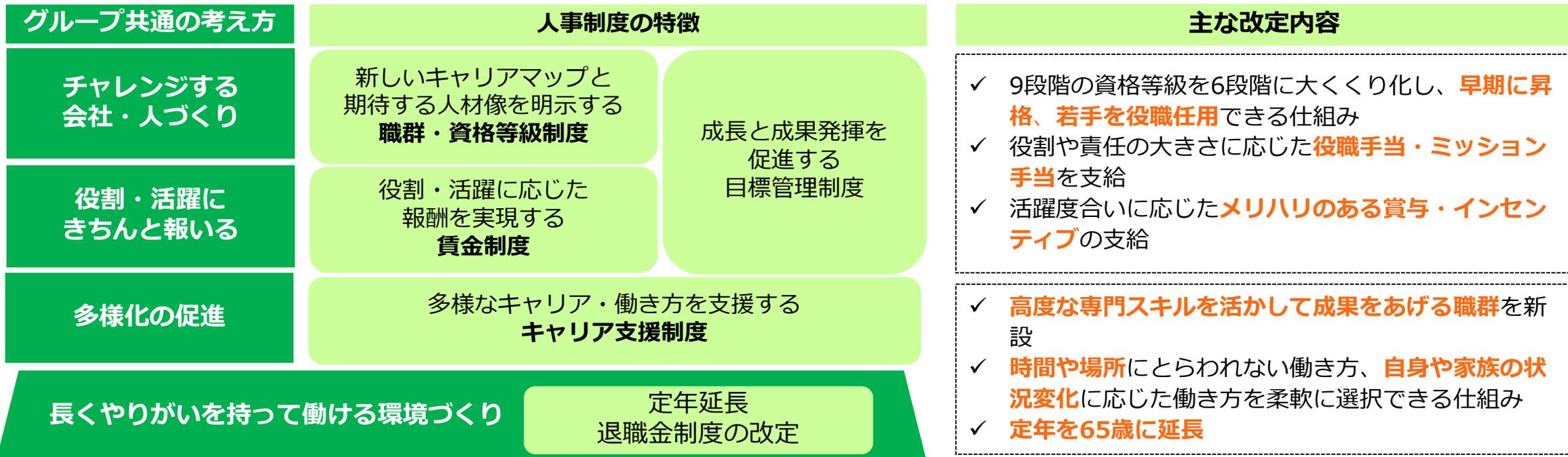


2025年度  
達成目標

自社の事業活動から発生するCO<sub>2</sub>削減量  
**目標値**  $\Delta 5,000$  t (2021年比)  
※2021年実績 34,132 t

お客さま先におけるCO<sub>2</sub>削減貢献量  
**目標値**  $\Delta 55,000$  t (2021年比)

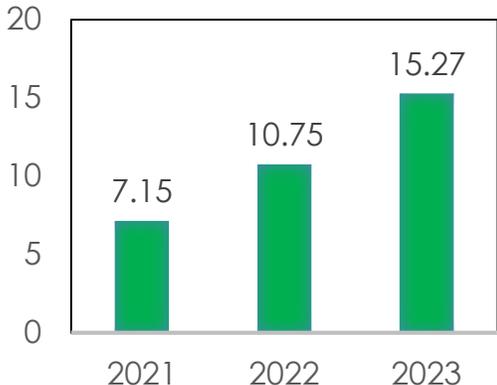
# 「自ら考え、行動する人」づくり 様々な社員の活躍、チャレンジを支える人事制度導入



## 具体的な取り組み

グループ人事制度に定義された期待人材像に基づく能力開発・キャリア開発

自ら手を挙げて参加するプログラムの拡充に注力しており、社員のチャレンジと自律的なキャリア形成を後押し。



キャリアや役職などに関係なく、社員が新規事業・サービスの創造にチャレンジできる仕組み「SALA事業創造チャレンジ」をスタート

日々の生活や業務の中から生まれたひらめきを持つ社員をグループ全体でサポートをして、事業化を目指す。



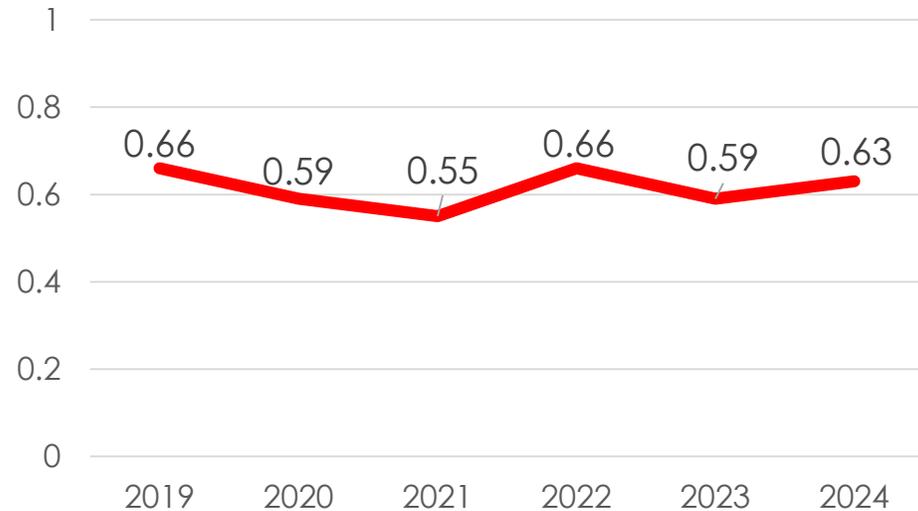
## 4. PBR改善に向けたキャピタル・アロケーション方針

# PBRの改善に向けて

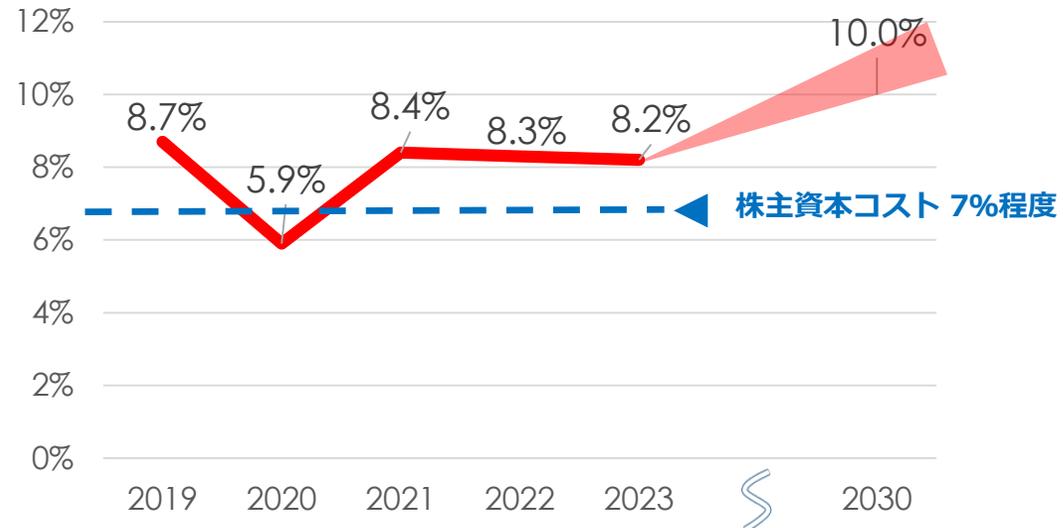
**ROEはCAPMベースの株主資本コストと同程度の水準と認識  
資本効率の向上により2030年には株主資本コストを上回るROE10%以上を目指す**

## PBRの推移

※PBRは期末時点、2024年は中間期末時点



## ROEの推移と株主資本コスト



## PBR改善に向けた方針・取り組み

- 公表している2030年ビジョンの期間におけるキャピタル・アロケーション方針を策定
- 最も重要なのはROE向上のための成長投資と既存事業の収益改善
- 加えて、株主還元の強化及び資本市場との対話やIRの充実を通じた株価割安要因の解消
- 成長投資については、次期中期経営計画（2026年1月公表予定）に向けて協議を継続

# キャピタル・アロケーション(2024年~2030年)

創出される営業CFを原資として、さらなる成長への投資を加速する  
同時に株主還元を強化し、事業成長と資本収益性の向上を目指す

## キャッシュイン

減価償却費  
(500億円)

税引き後  
営業利益  
(500億円)

## キャッシュアウト

成長投資  
(500億円)

- ・ 電力ビジネス、住まい暮らしの飛躍的成長に向けた成長投資
- ・ 2030年ビジョン及び中期経営計画（2026年1月公表予定）に連動した新しい事業への成長投資
- ・ M&Aやベンチャー企業とのアライアンスの積極活用
- ・ 人的資本投資、DX投資

【KPI】 ROE10%以上（2030年）

維持更新投資  
(250億円)

- ・ 既存事業領域における基盤強化などの継続投資

株主還元  
(250億円)

- ・ 配当方針の見直し（次ページ）
  - ・ 機動的な自己株式の取得
- 【KPI】 自己資本比率40~50%

# 株主還元強化

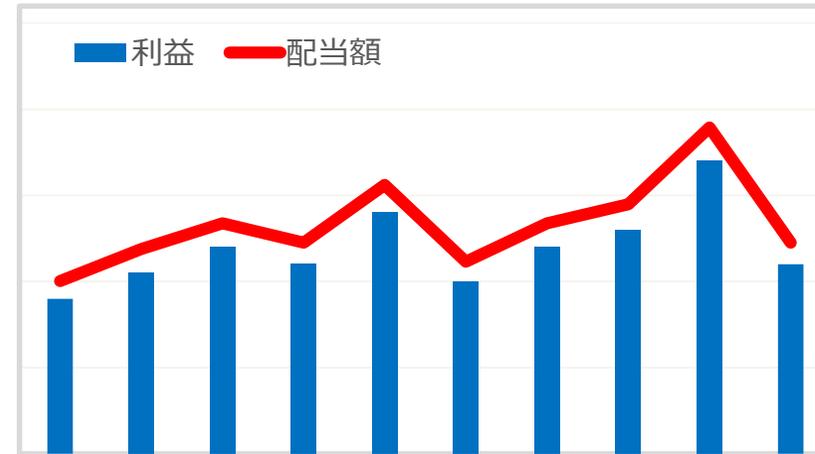
前期以上の安定的な配当を維持しつつ、連結配当性向40%以上（従来は30%目途）として業績に連動した還元を行う

## これまで

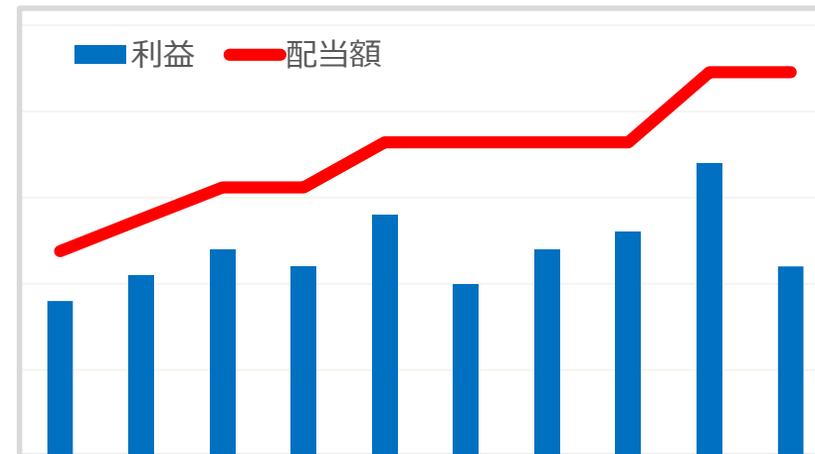
- 連結配当性向30%目途

## これから

- 連結配当性向40%以上
- 前期以上の配当を維持
- 機動的な自己株式取得
- 2024年11月期の期末配当予想を従来の14円から17円（年間27円から30円）に修正



配当イメージ図



# 配当の推移

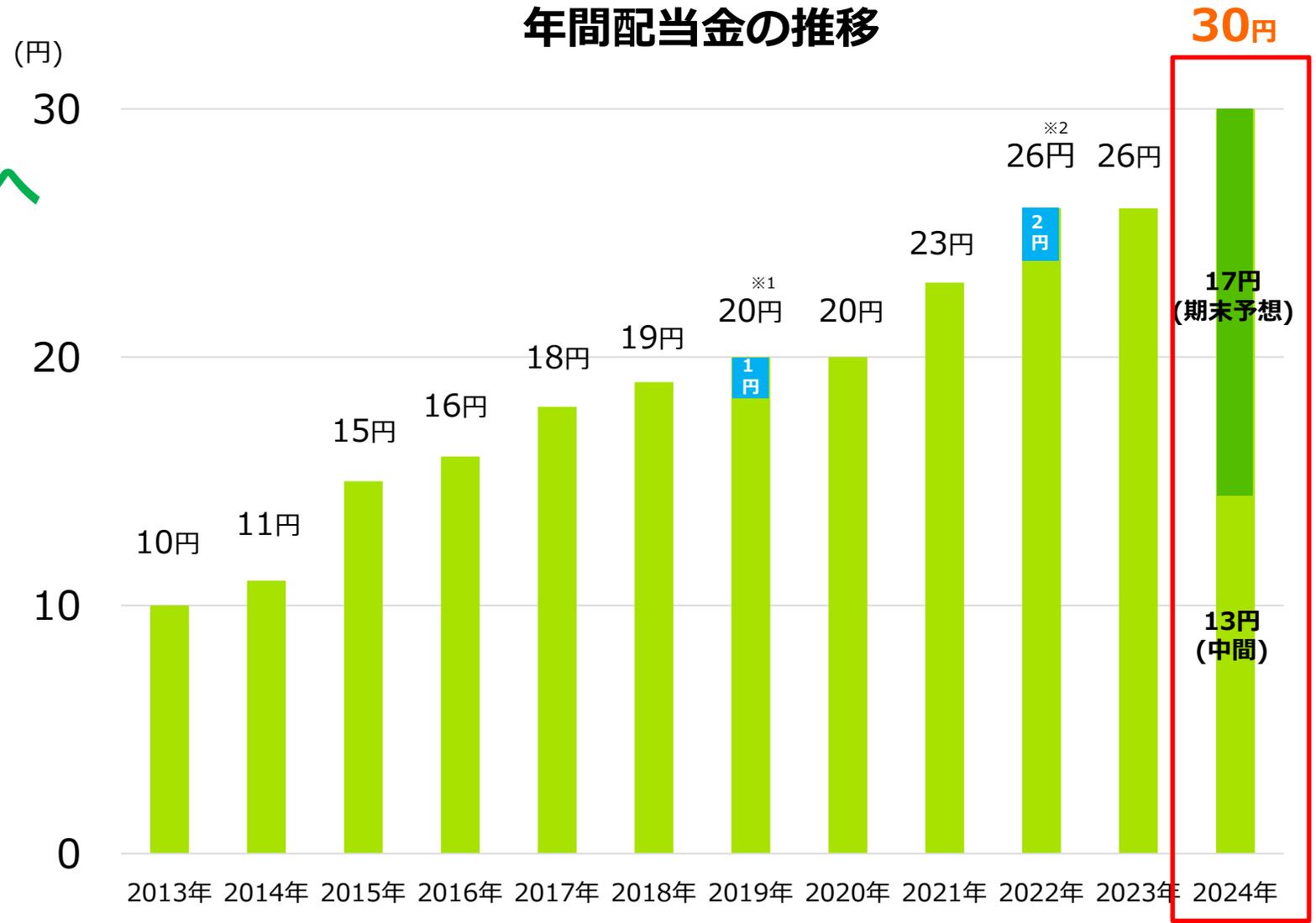
配当方針の変更に伴い  
2024年11月期の配当予想は  
前回予想から3円増配の17円へ

年間配当金は中間配当金13円  
と合わせて30円に

## 配当方針

配当は前期以上を維持しつつ、かつ為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向40%以上とします。また、自己株式の取得につきましては、市場環境や資本効率を勘案し機動的に実施します。

## 年間配当金の推移



※1 サーラグループ創立110周年の記念配当1円を含む  
※2 当社設立20周年の記念配当2円を含む

## キャピタル・アロケーション方針に基づく成長戦略投資と株主還元の強化について 資本市場との対話やIR活動の充実によりPERの向上を目指す

項目	具体的な取り組み
開示情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG情報を充実した統合報告書の早期開示（2024年版を7月末開示）</li> <li>・ 有価証券報告書の株主総会前開示</li> <li>・ 英文サイト及び英文開示（適時開示情報、決算説明資料等）の充実</li> <li>・ アナリストレポートの定期発行 （機関投資家への情報提供の充実、アナリストカバレッジの獲得）</li> </ul>
決算説明会・投資家面談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人投資家・機関投資家向け決算説明会の継続（1月、7月）</li> <li>・ 機関投資家との建設的な対話（個別面談）の拡充</li> <li>・ 投資家との対話で得られた意見を取締役にフィードバック</li> </ul>
取締役・社員の自社株式保有の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取締役向け業績連動型株式報酬制度の検討</li> <li>・ 従業員持株会の活性化（前期末時点で発行済株式数の7.75%を保有）</li> </ul>

## 4. 參考資料

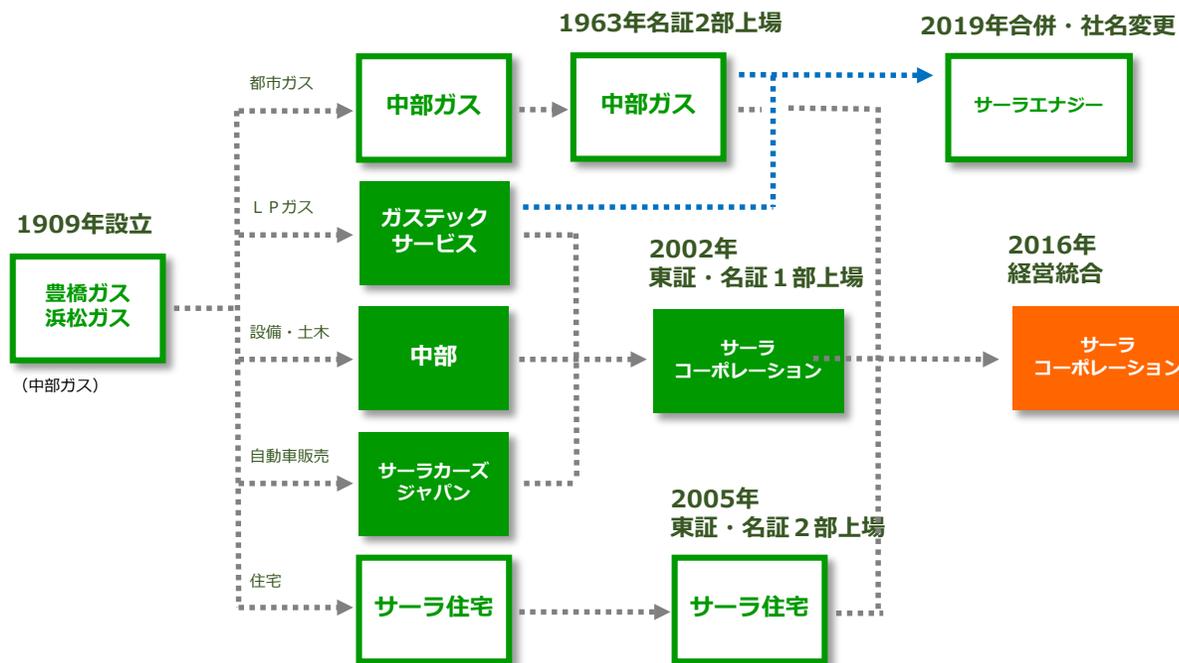
# サーラグループの概要（1）会社概要

## 会社概要

(2024年5月31日現在)

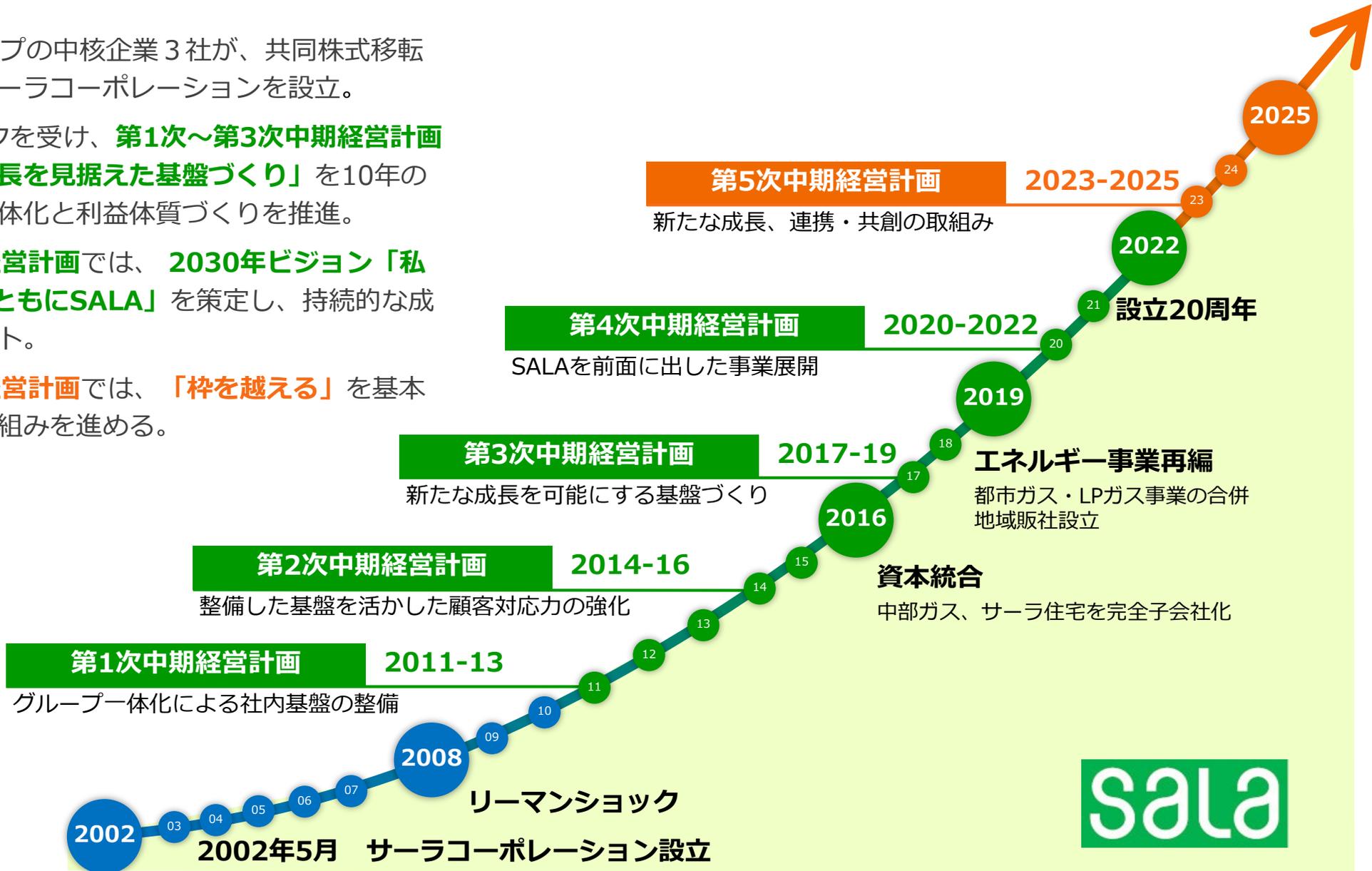
商号	株式会社サーラコーポレーション																				
設立	2002年5月1日																				
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー																				
資本金	80億2,500万円																				
証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場																				
役員	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長 兼グループ代表・CEO</td> <td>神野吾郎</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>渡会隆行</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>樽林孝尚</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>鈴木敬太郎</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>大辻祥子</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>一柳良雄</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>大久保和孝</td> </tr> <tr> <td>取締役(常勤監査等委員)</td> <td>武川裕樹</td> </tr> <tr> <td>社外取締役(監査等委員)</td> <td>村松奈緒美</td> </tr> <tr> <td>社外取締役(監査等委員)</td> <td>安形哲夫</td> </tr> </table>	代表取締役社長 兼グループ代表・CEO	神野吾郎	常務取締役	渡会隆行	取締役	樽林孝尚	取締役	鈴木敬太郎	取締役	大辻祥子	社外取締役	一柳良雄	社外取締役	大久保和孝	取締役(常勤監査等委員)	武川裕樹	社外取締役(監査等委員)	村松奈緒美	社外取締役(監査等委員)	安形哲夫
代表取締役社長 兼グループ代表・CEO	神野吾郎																				
常務取締役	渡会隆行																				
取締役	樽林孝尚																				
取締役	鈴木敬太郎																				
取締役	大辻祥子																				
社外取締役	一柳良雄																				
社外取締役	大久保和孝																				
取締役(常勤監査等委員)	武川裕樹																				
社外取締役(監査等委員)	村松奈緒美																				
社外取締役(監査等委員)	安形哲夫																				
従業員数	約4,000名（連結）																				

## 沿革



# サーラグループの概要（2）これまでの歩み

- 2002年5月、サーラグループの中核企業3社が、共同株式移転により完全親会社となるサーラコーポレーションを設立。
- 2008年のリーマンショックを受け、**第1次～第3次中期経営計画**を策定。「**次なる時代の成長を見据えた基盤づくり**」を10年のテーマに掲げ、グループ一体化と利益体質づくりを推進。
- 2020年からの**第4次中期経営計画**では、**2030年ビジョン「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」**を策定し、持続的な成長に向けて取組みをスタート。
- 2023年からの**第5次中期経営計画**では、「**枠を越える**」を基本方針とし、**連携・共創**の取組みを進める。



# サーラグループの概要（3）2030年ビジョン、5つの目指す姿

2030年ビジョン

## 私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

SALAブランドの確立	SALAは、個人の暮らしからまちづくり、社会インフラの整備など地域の暮らしに至る領域で、お客さまの安全、安心、快適を実現する商品・サービスを滞ることなく提供する、質の高いブランドとして地域に浸透しています。
質の向上	商品・サービスの質の向上への飽くなき取組みにより、お客さまとのつながりがより強固なものとなって、高いお客さま満足度を実現しています。また業務プロセスの効率化や適正な要員配置により生産性が高まっています。その結果、営業利益が2018年実績の2倍のレベルとなっています。
住まい分野の飛躍的成長	SALAの事業領域をエネルギー領域と、それ以外の領域に分け、既存セグメントの枠を超えて、商品・サービスを考え展開します。それ以外の領域、特に住まい分野において、リフォーム事業を見直し、大きく成長させるとともに、中古住宅ビジネスを基幹事業に成長させます。また、暮らしやすさを追求する組織を立ち上げ、SALAらしい新たな商品やサービスが開発され、住まいとBtoB分野の売上高は大きく増加しています。
自ら考え、行動する人づくり	多様な人材がそれぞれの持つ能力を最大限発揮できる新たな人事制度が運用され、SALAの社員としての誇りとやりがいを持ち、お客さまのニーズに対して、社員ひとり一人が自ら考え、行動し、新たな価値を生み出しています。チャレンジするという強い意思を全員が持ち、従来の枠組みに捉われない発想や行動があたり前になり、地域で一番魅力がある会社となっています。
社会価値向上	持続可能な社会の実現に貢献する企業グループとして、事業を通じて、カーボンニュートラルを含む環境問題や少子高齢化等の社会課題を解決するとともに、事業以外においても幅広く地域に貢献し、地域からの信頼を確立しています。

### 2030年の連結数値目標

売上高	営業利益	営業利益率
2,800億円	120億円	4.3%

## グループ会社43社（連結子会社35社、非連結子会社7社）

サーラコーポレーション

エネルギー&ソリューションズ （エネルギー・生活サービス事業）	サーラエナジー、サーラE&L東三河、サーラE&L浜松、サーラE&L名古屋、サーラE&L静岡、グッドライフサーラ関東、サーラeエナジー、サーラeパワー、サーラ物流、リビングサーラ、サーラの水、三河湾ガスターミナル、中部プロパンスタンド、浜松プロパンスタンド、日興、KANTOH
エンジニアリング&メンテナンス （土木・建設・設備事業）	中部、神野建設、鈴木組、中部技術サービス、テクノシステム、西遠コンクリート工業、トキワ道路、昭和クリーナー、中部ビルサービス、誠和警備保障
ハウジング （住宅販売事業）	サーラ住宅、中部ホームサービス、太陽ハウジング、宮下工務店、サーラハウスサポート、エコホームパネル
カーライフサポート （輸入車販売事業）	サーラカーズジャパン
アニマルヘルスケア （動物医薬品販売事業）	アスコ、同和化学
プロパティ （不動産関連事業）	中部ガス不動産、サーラホテル&レストランズ、サーラスポーツ
その他ほか	サーラフィナンシャルサービス、サーラビジネスソリューションズ、エムキャンパス、新協技研

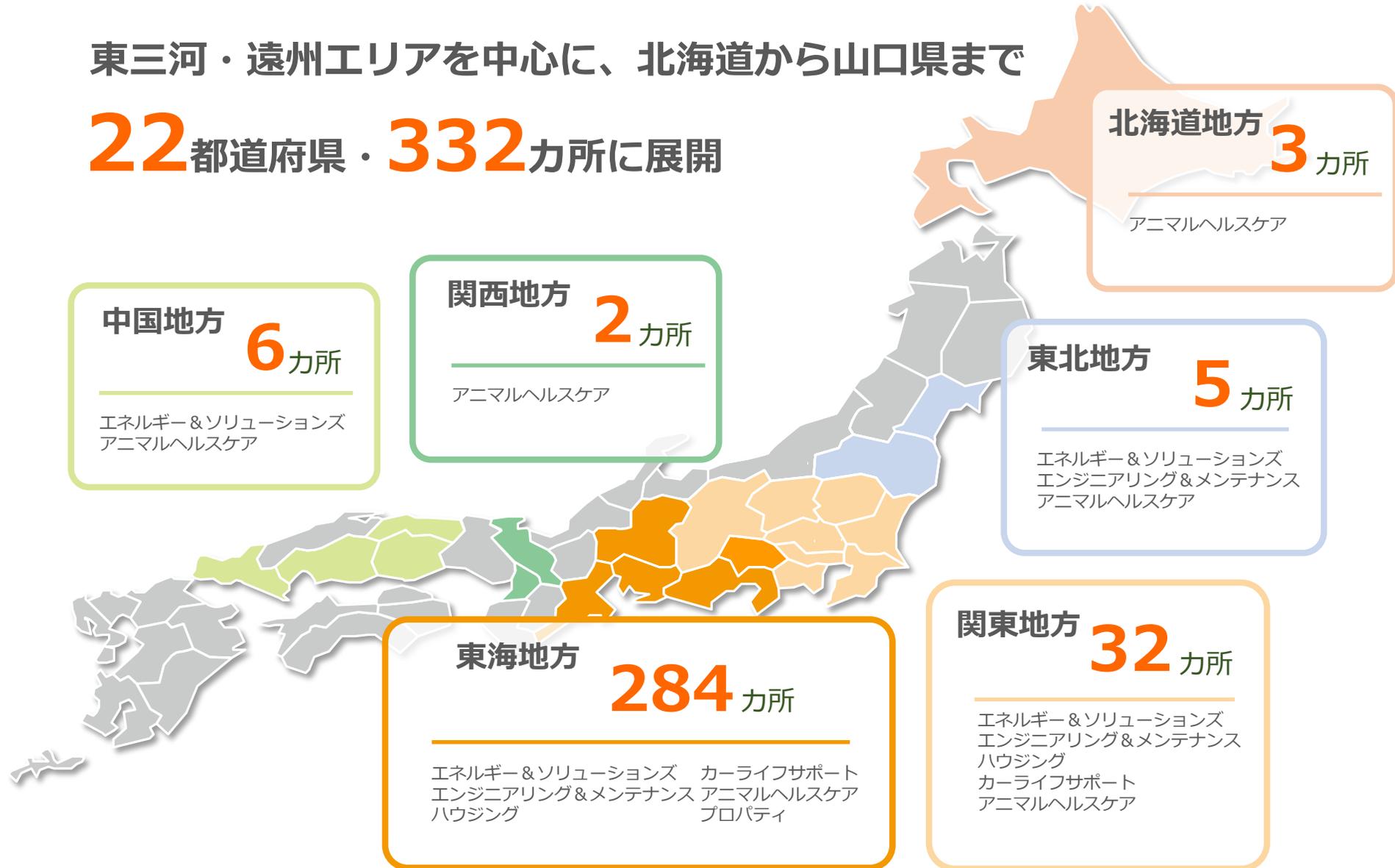


# サーラグループの概要（6）事業エリア及び拠点数

(2024年2月1日現在)

東三河・遠州エリアを中心に、北海道から山口県まで

**22**都道府県・**332**カ所に展開



# サーラグループの概要（7）東海エリアの展開状況

（2023年11月期実績）

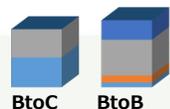
## 名古屋（岐阜・三重含む）

BtoC 売上高

**91** 億円

BtoB 売上高

**105** 億円



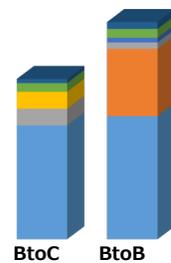
## 東三河

BtoC 売上高

**506** 億円

BtoB 売上高

**685** 億円



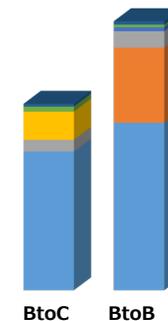
## 遠州

BtoC 売上高

**353** 億円

BtoB 売上高

**509** 億円



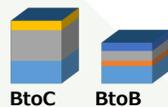
## 西三河

BtoC 売上高

**99** 億円

BtoB 売上高

**65** 億円



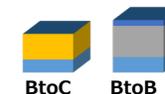
## 静岡（中部・東部）

BtoC 売上高

**60** 億円

BtoB 売上高

**82** 億円



# サラーグループの概要（8）株式の状況

(2024年5月31日現在)

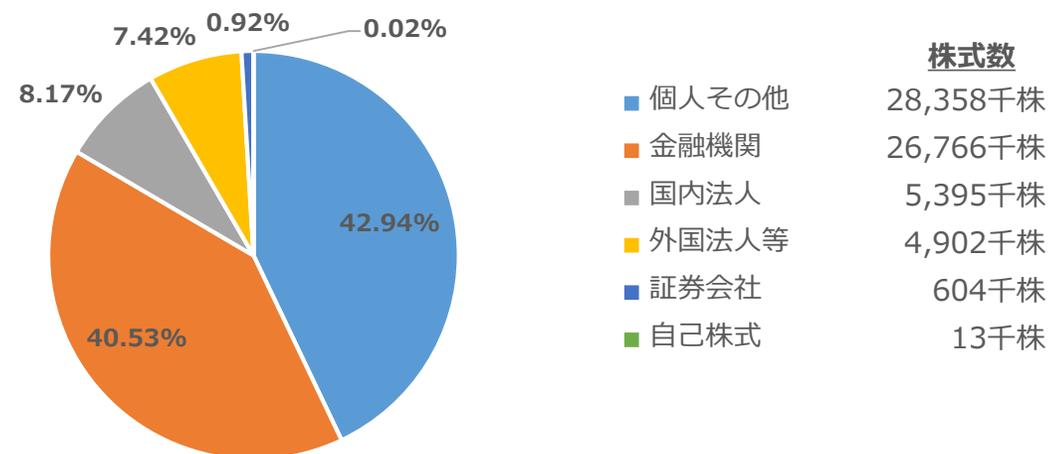
## 株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	66,041,147株 (自己株式13,536株を含む)
1単元の株式数	100株
株主数	11,533名

### ●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,728	8.67
サラーコーポレーション従業員持株会	5,028	7.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,172	4.80
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
サラーエナジー共栄会	2,352	3.56
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,528	2.31
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
神野吾郎	1,373	2.08

### ●所有者別株式分布



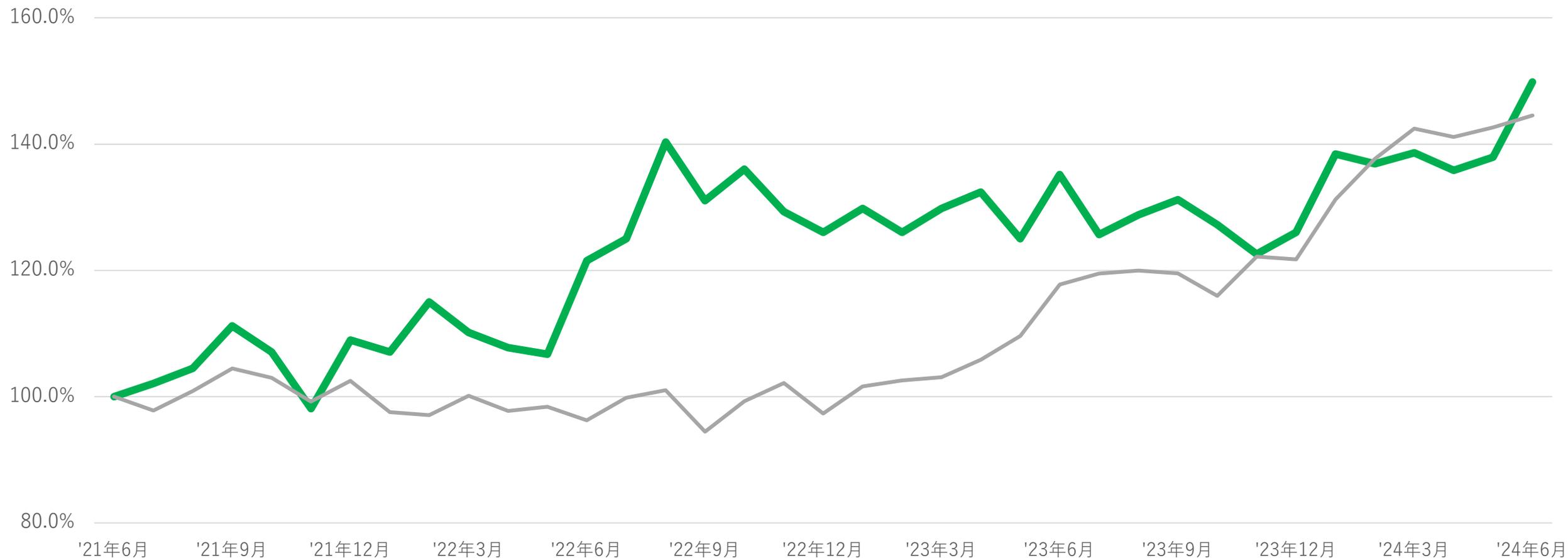
### ●株価(単位:円)、出来高(単位:千株)推移



# サーラグループの概要（9） 株価パフォーマンス

## 直近3年の株価パフォーマンス

— サラコーポレーション — TOPIX



※ 2021年6月の株価を100とする。2024年6月28日終値まで反映。

# サーラグループの概要（10）コーポレートガバナンス体制

（2024年5月31日現在）

## ● 監査等委員設置会社へ移行（2020年2月）

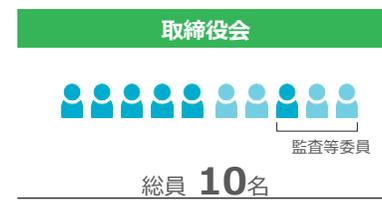
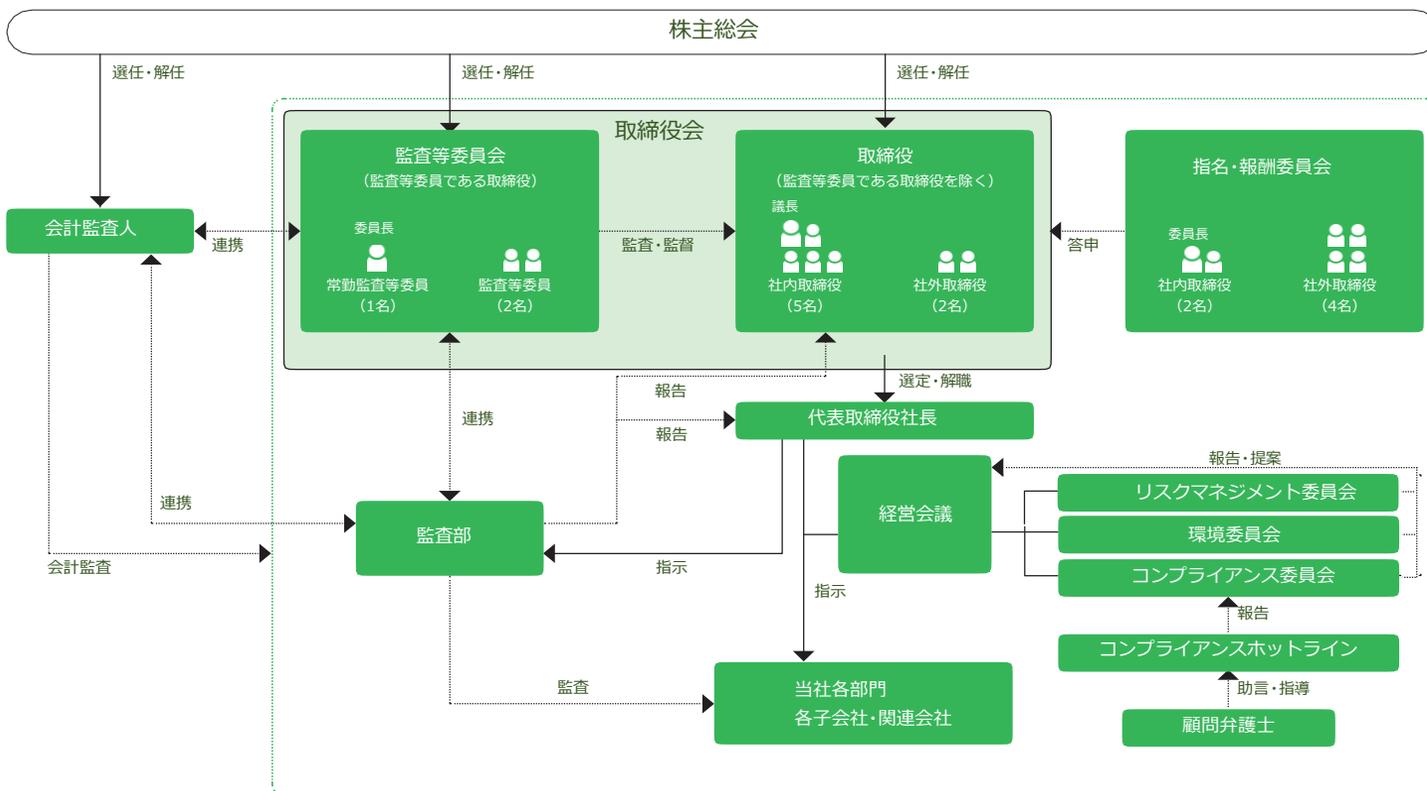
取締役会における業務執行者に対する監督機能の強化と、経営課題に対する議論の充実を図るため、2020年2月に機関設計を変更している

## ● 取締役会の運営の見直し（同上）

取締役会の機能強化を図るため、取締役会と経営会議の関係を整理し、重要な業務執行の決定の一部を経営会議へ委任している

## ● 指名・報酬委員会の設置（同上）

指名・報酬決定プロセスに対する透明性と客観性を高めるため設置し、年2回以上開催している



# サーラグループの概要（11）過去四半期財務データ

(単位：百万円)	2021年11月期					2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
売上高	52,493	61,322	53,736	60,383	227,935	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730
売上原価	36,787	44,804	40,770	47,203	169,565	43,081	43,905	42,408	47,855	177,251	48,704	46,990	43,475	47,059	186,229	44,291	44,531
売上総利益	15,706	16,518	12,965	13,179	58,369	15,374	15,915	12,335	13,971	57,596	15,450	14,831	11,839	13,708	55,829	14,874	15,199
(売上高比率)	29.9%	26.9%	24.1%	21.8%	25.6%	26.3%	26.6%	22.5%	22.6%	24.5%	24.1%	24.0%	21.4%	22.6%	23.1%	25.1%	25.4%
販売費及び一般管理費	12,830	13,086	13,242	12,617	51,777	12,352	12,693	12,657	13,002	50,705	12,445	12,813	12,520	11,966	49,745	12,333	12,851
人件費	6,287	6,487	6,632	6,542	25,949	6,119	6,356	6,238	6,302	25,015	6,057	6,246	6,263	6,179	24,747	5,958	6,384
販促費	545	635	904	633	2,718	478	585	553	649	2,267	551	636	539	-26	1,701	459	466
広告宣伝費	191	143	182	226	743	231	163	235	186	817	204	175	215	250	846	232	163
賃借料	1,348	1,322	1,349	1,277	5,297	1,354	1,301	1,319	1,322	5,298	1,342	1,297	1,309	1,300	5,249	1,277	1,270
減価償却費	1,350	1,341	1,376	1,414	5,483	1,321	1,335	1,484	1,386	5,527	1,296	1,327	1,309	1,355	5,289	1,287	1,337
租税課金	333	429	298	329	1,390	349	393	297	341	1,381	284	416	281	357	1,339	280	401
その他	2,774	2,727	2,498	2,194	10,195	2,498	2,557	2,528	2,813	10,397	2,707	2,713	2,601	2,548	10,571	2,836	2,827
営業利益	2,876	3,431	-276	561	6,592	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347
(売上高比率)	5.5%	5.6%	-0.5%	0.9%	2.9%	5.2%	5.4%	-0.6%	1.6%	2.9%	4.7%	3.3%	-1.2%	2.9%	2.5%	4.3%	3.9%
営業外収益	305	461	792	440	1,999	420	514	1,036	84	2,055	233	536	826	453	2,049	443	972
営業外費用	397	-264	55	90	278	221	-73	79	118	345	344	-233	90	61	262	84	92
経常利益	2,784	4,156	460	911	8,312	3,220	3,810	635	934	8,601	2,892	2,787	55	2,133	7,870	2,900	3,226
(売上高比率)	5.3%	6.8%	0.9%	1.5%	3.6%	5.5%	6.4%	1.2%	1.5%	3.7%	4.5%	4.5%	0.1%	3.5%	3.3%	4.9%	5.4%
特別利益	9	58	92	62	222	45	39	92	263	441	9	2,403	79	19	2,511	39	23
特別損失	23	56	4	385	471	4	28	40	548	621	26	875	25	78	1,005	40	41
税金等調整前当期純利益	2,769	4,158	548	588	8,064	3,261	3,822	688	649	8,422	2,875	4,316	110	2,074	9,376	2,899	3,208
法人税等	749	1,281	161	449	2,642	956	1,218	124	358	2,658	887	1,472	-83	849	3,126	910	823
非支配株主に帰属する当期純利益	42	89	0	27	160	62	45	14	-40	81	36	46	38	29	151	51	17
親会社株主に帰属する当期純利益	1,976	2,788	386	110	5,262	2,243	2,557	549	331	5,682	1,951	2,796	155	1,195	6,099	1,937	2,367
(売上高比率)	3.8%	4.5%	0.7%	0.2%	2.3%	3.8%	4.3%	1.0%	0.5%	2.4%	3.0%	4.5%	0.3%	2.0%	2.5%	3.3%	4.0%

# サラーグループの概要（12） 過去四半期財務データ\_セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)	2021年11月期					2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
売上高	52,493	61,322	53,736	60,383	227,935	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730
エネルギー&ソリューションズ	26,613	25,673	22,313	24,383	98,983	30,824	28,898	26,938	29,972	116,634	39,127	32,210	28,253	27,526	127,117	33,682	30,643
エンジニアリング&メンテナンス	6,224	11,158	5,564	7,803	30,750	7,234	8,515	6,376	8,058	30,184	7,014	7,984	7,085	8,562	30,646	6,828	7,930
ハウジング	7,244	10,161	9,156	12,019	38,582	8,843	9,665	8,881	10,819	38,209	6,367	8,500	7,787	11,524	34,180	7,239	8,271
カーライフサポート	3,320	3,994	3,980	4,243	15,539	3,718	3,807	4,516	4,922	16,964	4,298	4,527	4,566	4,762	18,154	3,718	4,311
アニマルヘルスケア	7,263	8,441	7,534	7,681	30,920	6,351	7,161	6,211	6,265	25,989	5,850	7,038	6,136	6,096	25,122	6,183	6,884
プロパティ	911	971	4,565	3,288	9,736	891	1,173	1,431	1,232	4,728	1,028	1,103	1,058	1,814	5,005	1,024	1,239
その他・調整額	916	920	621	962	3,421	592	600	388	555	2,136	468	455	425	481	1,831	489	449
営業利益	2,876	3,431	-276	561	6,592	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347
エネルギー&ソリューションズ	2,594	1,544	-597	-538	3,004	2,627	1,892	-586	62	3,996	2,855	1,201	-1,034	-32	2,989	2,415	1,583
エンジニアリング&メンテナンス	449	1,287	209	341	2,286	412	997	266	517	2,192	565	818	610	664	2,659	625	690
ハウジング	-173	257	147	549	780	39	171	63	294	568	-342	-57	-97	640	142	-190	9
カーライフサポート	21	64	63	117	267	9	-3	17	218	241	-86	-47	-53	207	19	-191	-46
アニマルヘルスケア	178	353	171	25	727	199	315	66	88	669	109	168	-11	47	313	22	148
プロパティ	-152	-98	-223	284	-189	-136	-52	-62	-167	-418	-43	25	-3	434	411	-13	20
その他・調整額	-41	22	-46	-219	-284	-129	-98	-86	-44	-358	-53	-90	-88	-220	-453	-126	-58

## サーラグループの概要（13）各種指標

	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期
EPS【1株当たり当期純利益】（円）	78.94	55.86	83.13	89.12	95.46
BPS【1株当たり純資産】（円）	941.6	961.01	1,027.98	1,128.69	1,206.92
DPS【1株当たり配当金】（円）	20.0	20.0	23.0	26.0	26.0
売上高営業利益率	2.6%	2.8%	2.9%	2.9%	2.5%
ROE【自己資本当期純利益率】	8.7%	5.9%	8.4%	8.3%	8.2%
配当性向	25.3%	35.8%	27.7%	29.2%	27.2%
総資産回転率（倍）	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3
自己資本比率	30.0%	32.1%	34.9%	38.2%	40.8%

### **(将来に関する記述等についてのご注意)**

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## **お問い合わせ先**

株式会社サーラコーポレーション総務部総務グループ

TEL : 0532-51-1182 Email : ir@sala.jp